正しい分別で「ごみ」から「資源」へ

資源循環推進課 TEL239−6267
FAX239−5054

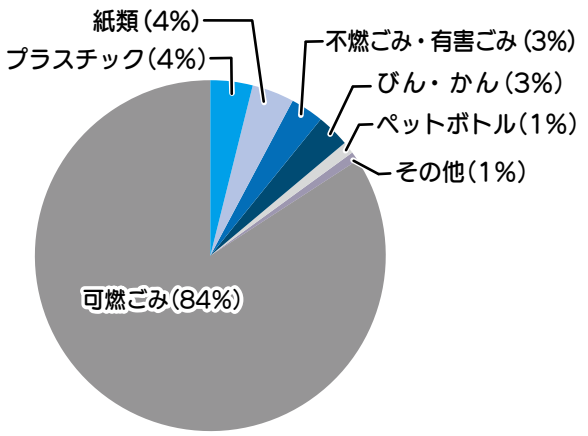
限りある資源と豊かな自然環境を守っていくために、環境への負荷が少ない循環型社会を目指し、引き続きごみを減らし、資源となるものは正しく分別することが大切です。

数字で見る川越市のごみ

＊令和7年度清掃事業概要より

市内家庭ごみの総量	市民１人当たり家庭ごみの総量	処理費用
年間 約7万t	年間 約199kg	年間 約75億円

種類別ごみの割合



可燃ごみが全体の84%を占めています。可燃ごみの処分には費用がかかりますが、混入している資源を分別することで、ごみ処理費用の削減につながります。

一人ひとりの分別が大切！

可燃ごみに混ぜていませんか？

プラスチック製容器包装

プラマークのあるボトル類、チューブ類、カップ類、トレイ類、緩衝材など。
＊中身は残さないようにし、中を軽くゆすぐ。

紙類

新聞、段ボール、紙パック、雑がみを各々分けて紐（ひも）で縛る。
＊防水加工された紙や油・食品などで汚れた紙などは可燃ごみへ。

ペットボトル

PETマークのあるもの。キャップやラベルは外してプラスチック製容器包装へ。

布類

衣類、タオル、毛布、着物など。雨天時は次回以降の収集日に出す。

Point!

可燃ごみ中に含まれる**紙類の割合は約40%**となっています。これらの紙類、特に雑がみを適切に分別すれば、ごみの減量化や資源化の向上につながります。

リサイクルの現場を紹介！（プラスチック製容器包装）

各家庭から収集



市内の各家庭から集められたプラスチック製容器包装。**1日当たり約10t**排出されます



回収したプラスチック製容器包装に異物が混入していないか**手作業**で確認・混入物を取り除く

異物

- 汚れたもの
- プラスチック製容器包装以外のもの
- 小さい袋に入れられ中身が確認できないもの

雑がみの分別

可燃ごみに約40%混入

「雑がみ」とは、お菓子の空箱、包装紙、雑誌など古紙類の総称で、「紙類」の回収日に収集しています。回収された雑がみは紙の原料として繰り返し利用され、資源の有効利用になり、森林資源の持続可能な利用に貢献しています。また、きちんと分別して紙類の日に出したものは古紙リサイクル事業者に売却することができ、市の収入になります。

～雑がみの出し方～ 1002388 ID



本・雑誌類にはさむ　紙袋に入れる　すべてまとめてしばる

よくある質問Q&A



●プラスチックのおもちゃは、どうやって分別するの?

プラマークが無く一番長い辺が50cm未満のプラスチック製品は、可燃ごみに出してください。乾電池を使用している場合は、乾電池を外して有害ごみに出してください。

●集積所から収集された布類は、どこに行くの?



きれいなものは海外へ輸出されリユースされます。ほつれ等があるものは工場等で使用するウエスとしてリサイクルされます。

●私たちが、ごみの減量化に向けてできることは？

「すぐ食べるものは賞味期限が近いものを選ぶ」「マイバッグやマイボトルを持ち歩く」「生ごみを捨てる時には水切りを行う」などの取り組みがあります。

ごみ分別の お役立ちツール！

使ってみよう！

1. AI画像認識機能を備えたごみ分別アプリ



スマートフォンのカメラで対象物を撮影して、ごみの捨て方を調べてみましょう。

チェック！ 1022251 ID

2. ごみ出しの日をお知らせするアプリ



ごみの収集日やごみの出し方、注意点などの情報を確認できます。

チェック！ 1002383 ID

3. 不要品処分の前に“おいくら”を利用



不要品の買取り店一括見積依頼ができるウェブサイト「おいくら」を通じたリユースを検討してみましょう。

チェック！ 1002476 ID

未来へつなごうリサイクル！

できることから始めよう！

正しい分別をしてリサイクルに取り組むことは、「地球上の天然資源の節約」「温室効果ガスの削減」「廃棄物処理費用の削減」の観点から大きな意義があります。

この機会に、一人ひとりが分別を心掛け、ごみの減量化やリサイクルに向けた取り組みを実践してみませんか。



2回目も手作業で！

異物混入の確認は2回行う。**2回目も手作業**で入念にチェック！

実際に混入していた異物



電池類やプラマークのないハンガーなど



確認済みのプラスチック製容器包装を押し固めて梱包しリサイクル施設に搬出する準備完了

新しい製品に生まれ変わるよ

資源として搬出

●再びプラスチック製品へ